

H. P. Report

第10号

発行責任者 三菱電機株式会社 北陸支社 官公システム課 稲崎義明

Windows meについて (2)

Windows MEが発売となり、もう既に使っているという人もいます。発売当初は期間限定パッケージとして年内は実売5800円でアップグレード版を入手することが出来ます。通常のアップグレード版も発売となりますが、期間限定バージョンはWin98、98SEからのみのアップグレードが可能で、現在Win95のユーザは対象となっておりません。同時にWindows 2000へのアップグレード版も期間限定で発売となっています。どうもマイクロソフトはどうせWindows 2000の次のバージョンである「Whistler」へのOSの一本化を行うために個人ユーザに対してもWin2000への移行してもらいたいようです。それほど中途半端なのかもしれませんが、ハードソフトがまだWin2000に十分に対応していない状態ではつなぎのOSが必要だったのかもしれませんが。

では、Win meがどこが違うかということですが、まず新機能としてはトラブルを予防、解決する機能が追加されています。この機能は、プログラムをインストールして使っていると調子が悪くなって動作が不安定になるということがよく起こりますが、その場合にインストールの前の状態に戻すことが出来る機能です。この機能を実行すると、指定した日付以降に追加したアプリケーションがスタートメニューに表示されなくなり、EXEなどの拡張子の付いたプログラムファイルが削除されます。もちろん、復元する場合にはその日付（復元ポイント）の情報を保存しておく必要があります。この復元ポイントは自分で作成することも出来ますが、アプリケーションをインストール前に自動的に作成されます。またチェックポイントとして24時間ごと、24時間以上起動されていなかった場合は起動時に、起動中は10時間ごとに自動で作成されます。「システムの復元」を起動（セーフティモードでも起動可）するとカレンダーが表示され、調子のよかった日付を選択するとそのときの復元ポイントが表示されます。このときマニュアルで復元ポイントを設定した場合にはそのコメントが表示されます。それらを選択し実行することによってそのときの状態に近くもどすことが出来ます。元の状態に近いというのは、データ保護ということでマイドキュメントフォルダのすべてのファイルやWordやExcelなどのデータファイルはそのまま残りますし、アプリケーションについてもプログラムファイルは削除しますが、アプリケーションとして削除するわけではないので、きちんと削除する場合には再度インストールした後で削除する必要があります。また、システムの復元には多くのディスク容量が必要となり、最低200MBの容量が必要となります。

また、システムファイル（DLLやSYS、EXEなどの拡張子の付いたファイル）の上書きから保護することが出来るようになっていきます。この機能によって削除や上書きが行われると自動的にもとのファイルに書き戻されます。システムのアップデートでこのファイルを上書きする必要がある場合は、マイクロソフトが認めた場合にのみ可能となっています。マイクロソフトが認めたものであることはデジタル署名の機構によって自動的に確認され、保護されていますが、デジタル署名のないドライバを使用しようとする場合には、未署名の物をインストールする際に警告するというオプションを選択し個々の責任において続行することが出来ます。

他には、インターネット使用中に自動的にアップグレードの情報を入手し、プログラムをトラフィックの少ないときにダウンロードを行い、ダウンロードが完了したところでインストールを促すアップデート機能もあります。（次回へ続く）

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 9月25日号

特集 ゲームルネサンス

→家庭用ゲーム機はCPUが8ビットからはじまり、16、32、64と高機能化し128ビットに到達した。確かに画面の表現は現実近づいていったが、ここにきて仮想世界でコミュニケーションが取れるゲーム環境、ケータイが注目され始めている。

特集 危険域に踏み込むHDD

→いつのまにか10GBを軽く超えるようになったHDD。年率30~60%の記憶密度の上昇を続けてきたが、そろそろ限界論が出てきている。その限界を破る方法の紹介。

○日経パソコン 10月2日号

特集 つなぎっぱなし新時代始まる

→NTTからISDNのつなぎっぱなしのサービス「フレッツ・ISDN」のサービスが始まっている。つなぎっぱなしにすることによってインターネットの使い方が変わる。Webブラウザが雑誌やテレビ代わりに、動画を使ったコミュニケーションも使えるようになる。

特集 基礎からわかるパソコン増強術

→使っているパソコンの性能に不満が出てきた場合のメモリを増設したりHDDを増設したりする方法をケースのほずし方から。

○日経バイト 10月号

特集 ASP/IDCの実像

→1年前から話題になったASP。実際に使っているのは8%程度で、負荷の軽減などのメリットに比べて万が一の場合のセキュリティに不安をもっているためなかなか導入が進まない。また、インターネットでASPなどのサービスを行う場合に必要な24時間365日安定してサービスを提供するIDC(InternetDataCenter)は、企業ごとのデータサービスにもサービスを提供している。

特集 新世代に突入するマイクロプロセッサ

→インテルは来年にかけて64ビットプロセッサItanium(Pentium4)、チップセット統合型プロセッサTimnaを登場させる。

○INTEROP 11月号

特集 これだけは知っておきたいセキュリティ

→簡単にインターネットに接続してしまう企業ネットワーク。改ざんや盗聴だけでなく、他のネットワークへの侵入のための踏み台ともなる。あまりに無防備につないではないか。なぜ危ないか。どこが危ないか。どう対策をとればいいのか。

○ASCII 10月号

特集 Windows me王道&裏テク大百科

→発売となったWinMEのインストールからカスタマイズ、活用、裏テクニクまで。周辺機器、アプリケーションの対応状況の一覧も。

特集 テレビがパソコンに飲み込まれる!?

→テレビのデジタル放送が始まり、テレビでいろいろな情報が自由に取
り出せるようになってきている。テレビはただ見るものから情報を得るも
のに変わる。見た目パソコンと変わらず、インターネットとの融合に
よってホームネットワークに取り込まれてしまう。

○PC STYLE 21 10月号

特集 高速&常時接続を極める

→フレッツ・ISDNを初めCATV、ADSL、ワイヤレスなど常時接
続環境が拡大している。それぞれの特徴と現在の状況からどれを選択す
ればよいか。

特集 音楽配信完全マスター

→気づかないうちに進んでいる音楽配信。いろいろなレコードメーカーが参
入している。各サイトの特徴とその利用の仕方について。

○ASCII DOS/V 11月号

特集 MPEG2キャプチャーボード徹底比較

→MPEGでのキャプチャーといえばMPEG1であったが、MPEG2
のボードが、1万円台から4万円台と手の届く範囲にきている。これか
らデジタルで残すならDVDでも使われているMPEG2（画質はボー
ードと同じではないが）。

特集 ザ・ワンダーUSBランド

→標準装備のUSB。HDDからビデオキャプチャーまで自由に拡張機器
がつけられる。その基礎知識から対応機器まで。

○DOS/V magazine 10月15日号

特集 最新技術を徹底図解!新ノートPC購入学

→Crusoeがもたらすノート新時代。高機能でAVに特化した機種か
ら低価格機まで。各製品の特徴紹介。

特集 Windows meの互換性チェック

→インストールのやりかた（特にCD-ROMのない機種のもの）～各
デバイスの互換性チェック。